



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月6日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamuraya.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 裕之
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 弘中 雅裕 (TEL) 03-5325-2733
 配当支払開始予定日 一
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	25,924	△0.8	112	32.8	262	40.4	108	△18.5
	26,144	△1.0	85	—	186	—	133	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 18.75	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	22.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 49,467	百万円 28,093	% 56.8
2025年3月期	43,509	27,038	62.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 28,093百万円 2025年3月期 27,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 70.00	円 銭 70.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 37,700	% 1.2	百万円 660	% △38.3	百万円 860	% △32.7	百万円 520	% △41.2	円 銭 90.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

	2026年3月期3Q	2025年3月期	5,976,205株
② 期末自己株式数	200,776株	2025年3月期	199,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	5,775,913株	2025年3月期3Q	5,806,697株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要や所得環境の改善等などにより、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、原材料価格の高騰や物価上昇などにより実質賃金が伸び悩み、個人消費が低迷するなど、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は経営理念「真の価値を追求し、その喜びを分かち合う」の実現を目指し、「中期経営計画－中村屋2027ビジョン－」の基本方針「理念経営の実践」「バリューチェーン・インフラの再構築」「ブランド・人財育成への投資」「『くらしに溶け込む食』による価値創造」に沿い、目標達成に取り組んできました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は、25,923,977千円 前年同期に対し219,931千円、0.8%の減収となりました。

利益面では、売上高は減収となったものの、効率化の推進を積極的に行ったことで、営業利益は112,385千円 前年同期に対し27,745千円の増益、経常利益は261,776千円 前年同期に対し75,322千円の増益、四半期純利益は108,314千円 前年同期に対し24,510千円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 菓子事業

菓子類では、銘店ギフト商品の新改良を行うと同時に、「月の菓」など主力商品の規格変更や「ひとくち米菓稻の実り」などの新発売により、カジュアルギフトの品揃え強化を図りました。自家用菓子類では、どら焼類のリニューアルを行い、拡販に努めました。また、「小倉粒あんもなか」「焼きかりんとう饅頭」を企画・開発し、次期中核商品の育成に向けてテスト販売を行いました。

中華まんじゅう類では、量販店販路向け「肉まん」「あんまん」「ピザまん」などの改良を行い商品力を強化するとともに、「焦がし醤油とにんにくのチーズ肉まん」を新発売して新たなシーン・用途に向けた商品展開を行いました。コンビニエンスストア販路向けでは、「肉まん」「あんまん」「ピザまん」「大入り豚まん」の品質改良と価格改定を行い、商品力の強化を図りました。また、「じやがまるくん」の発売や、12月期にキャラクターとのコラボした「カレーまん」の発売を行い、「あんまん」「ピザまん」でのコラボとあわせて拡販を行いました。

新宿中村屋ビル「スイーツ&デリカBonna（ボンナ）」では、「できたて」や「手づくり」といった顧客のニーズに合わせ、厨房で作った「手焼き生どら焼き」「できたてサンド月餅 ラムレーズンバター」を発売するとともに、「新宿カリーパン」の揚げたて販売を実施したことが売上増収につながりました。

以上のような営業活動を行った結果、菓子事業全体の売上高は17,628,630千円、前年同期に対し438,505千円、2.4%の減収となったものの、営業利益は1,106,368千円、前年同期に対し26,169千円の増益となりました。

② 食品事業

市販食品では、原料費高騰が続く中、美味しさと簡便さを求める消費者にニーズを踏まえ、レストランの調理技術を生かしてソースにこだわり抜いた新商品「シェフが仕立てたシリーズ」を発売し、レトルトカレーの品揃えを強化しました。また、主力商品「インドカリーシリーズ」は重点取引先への積極的な販促提案を実施することで売上拡大に貢献しました。調理用中華「本格四川シリーズ」は関西エリアでの中華フェスイベントに参加し、認知拡大・売上拡大に努めました。

業務用食品では、伸長する中食販路の主力商品拡販を徹底することで、重点販路に位置づけている大手コンビニエンスストア向けカレーの売上を拡大いたしました。また、好調なカフェ業態向けにスープ類を中心に新商品の導入を図りました。併せて、前年から継続して不採算商品の絞り込みを行い、事業の効率化を図りました。

新宿中村屋ビル「カジュアルダイニングGranna（グランナ）」「レストラン&カフェManna（マンナ）」では顧客ニーズに合わせた季節商品の販売、賞味会の開催により多くのお客様にご来店いただきました。

新宿中村屋オリーブハウスでは、洋食に季節の素材を使用したフェアを開催し、「牡蠣フェア」や店内手作りにこだわった「プリンフェア」を実施し、新たなファンづくりを推進しました。

以上のような営業活動を行った結果、食品事業全体の売上高は7,609,240千円、前年同期に対し224,359千円、3.0%の増収となり、営業利益は507,660千円、前年同期に対し60,896千円の増益となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、商業ビル「新宿中村屋ビル」において、適切な施設管理による快適な商業空間の提供に努め、満室稼働を維持しました。また、武蔵工場敷地の一部及び旧東京事業所敷地を賃貸し地代収入を得ることで、保有する不動産を有効に活用しました。

以上のような営業活動を行いましたが、一部店舗の賃料改定の影響により、売上高は686,107千円、前年同期に対し5,786千円、0.8%の減収となり、営業利益は330,577千円、前年同期に対し13,705千円の減益となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少835,979千円等がありましたが、売掛金の増加2,875,953千円、投資有価証券の増加1,988,918千円、土地の増加1,422,355千円等により、前事業年度末に比べ5,958,489千円増加し、49,467,442千円となりました。

負債は、賞与引当金の減少405,977千円、退職給付引当金の減少170,132千円等がありました。長期前受収益の増加3,236,077千円、買掛金の増加993,585千円、繰延税金負債の増加692,797千円等により、前事業年度末に比べ4,902,976千円増加し、21,373,982千円となりました。

純資産は、剰余金の配当404,341千円による利益剰余金の減少等がありました。その他有価証券評価差額金の増加1,354,239千円等により、前事業年度末に比べ1,055,513千円増加し、28,093,460千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、835,980千円減少し、1,779,687千円となりました。

区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、1,652,552千円の収入となりました。これは主に、売上債権の増加額△2,875,953千円等があったものの、長期前受収益の増加額3,236,077千円、減価償却費1,345,714千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、2,310,360千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出△2,067,088千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、178,185千円の支出となりました。これは主に、短期借入金の増加額300,000千円等があったものの、配当金の支払額△402,285千円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予測につきましては、2025年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,616,883	1,780,905
売掛金	4,368,594	7,244,547
商品及び製品	1,448,739	2,339,666
仕掛品	44,127	53,401
原材料及び貯蔵品	2,147,662	1,987,630
その他	576,334	744,008
流动資産合計	11,202,339	14,150,156
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,332,274	6,798,097
構築物（純額）	643,621	596,426
機械及び装置（純額）	2,066,271	2,013,639
車両運搬具（純額）	978	791
工具、器具及び備品（純額）	206,009	174,733
土地	13,072,558	14,494,913
リース資産（純額）	966,694	819,186
建設仮勘定	86,969	232,767
有形固定資産合計	24,375,373	25,130,551
無形固定資産		
その他	255,530	451,384
無形固定資産合計	255,530	451,384
投資その他の資産		
投資有価証券	6,529,882	8,518,800
関係会社株式	536,056	389,221
前払年金費用	—	251,072
その他	611,403	577,889
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	7,675,710	9,735,352
固定資産合計	32,306,614	35,317,286
資産合計	43,508,953	49,467,442

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,234,747	2,228,332
短期借入金	—	300,000
リース債務	91,944	93,099
未払金	1,357,747	1,811,790
未払費用	486,192	590,210
未払法人税等	43,745	12,259
賞与引当金	696,810	290,833
その他	564,182	459,510
流動負債合計	4,475,367	5,786,034
固定負債		
リース債務	403,101	388,902
繰延税金負債	3,713,084	4,405,880
退職給付引当金	555,552	385,420
資産除去債務	254,002	103,130
長期前受収益	6,538,734	9,774,811
受入保証金	531,166	529,804
固定負債合計	11,995,638	15,587,947
負債合計	16,471,006	21,373,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,410,455	6,410,455
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,099,120	8,099,120
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,072,570	3,017,188
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	1,044,323	803,679
利益剰余金合計	9,321,826	9,025,799
自己株式		
△645,906	△648,606	
株主資本合計	24,244,442	23,945,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,793,506	4,147,745
評価・換算差額等合計	2,793,506	4,147,745
純資産合計	27,037,947	28,093,460
負債純資産合計	43,508,953	49,467,442

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	26,143,908	25,923,977
売上原価	16,873,297	16,578,181
売上総利益	9,270,611	9,345,796
販売費及び一般管理費		
販売費	7,399,366	7,401,191
一般管理費	1,786,605	1,832,220
販売費及び一般管理費合計	9,185,971	9,233,411
営業利益	84,640	112,385
営業外収益		
受取配当金	102,124	126,774
受取保険金	13,082	4,974
その他	23,399	28,191
営業外収益合計	138,605	159,939
営業外費用		
支払利息	18,389	8,463
支払補償費	9,000	—
控除対象外消費税等	7,178	—
その他	2,224	2,086
営業外費用合計	36,792	10,549
経常利益	186,454	261,776
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5
資産除去債務戻入益	—	93,185
特別利益合計	—	93,190
特別損失		
固定資産除却損	4,278	3,262
減損損失	4,426	6,078
関係会社株式評価損	—	146,835
特別損失合計	8,704	156,174
税引前四半期純利益	177,750	198,791
法人税、住民税及び事業税	7,155	20,816
法人税等調整額	37,770	69,661
法人税等合計	44,925	90,477
四半期純利益	132,824	108,314

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	177,750	198,791
減価償却費	1,111,626	1,345,714
減損損失	4,426	6,078
資産除去債務戻入益	—	△93,185
賞与引当金の増減額（△は減少）	△572,078	△405,977
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△551,782	△170,132
前払年金費用の増減額（△は増加）	—	△251,072
受取利息及び受取配当金	△102,162	△127,278
支払利息	18,389	8,463
為替差損益（△は益）	12	674
有形固定資産除却損	4,278	3,262
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△5
関係会社株式評価損	—	146,835
売上債権の増減額（△は増加）	△2,018,700	△2,875,953
棚卸資産の増減額（△は増加）	△877,981	△740,168
仕入債務の増減額（△は減少）	684,083	993,585
未払金の増減額（△は減少）	476,840	462,063
未払消費税等の増減額（△は減少）	△181,931	△124,624
前受収益の増減額（△は減少）	43,109	42,818
長期前受収益の増減額（△は減少）	3,236,077	3,236,077
その他	△84,823	△188,648
小計	1,367,134	1,467,318
利息及び配当金の受取額	167,360	206,169
利息の支払額	△18,265	△8,463
法人税等の支払額	△301,936	△49,366
法人税等の還付額	—	36,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214,293	1,652,552
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	948	—
有形固定資産の取得による支出	△601,017	△2,067,088
無形固定資産の取得による支出	△90,885	△247,604
投資有価証券の取得による支出	△11,206	△11,584
投資有価証券の売却による収入	—	45
投融資による支出	△42,309	△35,198
投融資の回収による収入	17,494	55,109
資産除去債務の履行による支出	△11,810	△4,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△738,786	△2,310,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	100,000	300,000
リース債務の返済による支出	△65,242	△73,199
自己株式の取得による支出	△1,519	△2,701
配当金の支払額	△346,617	△402,285
財務活動によるキャッシュ・フロー	△313,378	△178,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	162,143	△835,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,136,514	2,615,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,657	1,779,687

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

業績の季節的変動

当社の売上高は、主力商品の特性から冬季に需要が高く、上半期(4月～9月)と第3四半期を含む下半期(10月～3月)の業績に季節的変動が生じております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	18,067,135	7,384,880	—	25,452,016
顧客との契約から生じる収益	18,067,135	7,384,880	—	25,452,016
その他の収益	—	—	691,893	691,893
外部顧客への売上高	18,067,135	7,384,880	691,893	26,143,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,067,135	7,384,880	691,893	26,143,908
セグメント利益	1,080,199	446,764	344,282	1,871,245

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 頓
報告セグメント計	1,871,245
全社費用(注)	△1,786,605
四半期損益計算書の営業利益	84,640

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて1,201千円、「食品事業」セグメントにおいて3,225千円の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において4,426千円であります。

II 当第3四半期累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又は サービス	17,628,630	7,609,240	—	25,237,870
顧客との契約から生じる収益	17,628,630	7,609,240	—	25,237,870
その他の収益	—	—	686,107	686,107
外部顧客への売上高	17,628,630	7,609,240	686,107	25,923,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	17,628,630	7,609,240	686,107	25,923,977
セグメント利益	1,106,368	507,660	330,577	1,944,605

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 領
報告セグメント計	1,944,605
全社費用(注)	△1,832,220
四半期損益計算書の営業利益	112,385

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「菓子事業」セグメントにおいて2,751千円、「食品事業」セグメントにおいて3,327千円の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において6,078千円であります。